



笠間市を紹介する市長と石破総理大臣

KASAMA

市長 コラム

文 / 笠間市長 山口 伸樹

内閣総理大臣
いしばしげる
石破茂

私が県会議員としての2年目33歳当時、全国自由民主党青年局主催の欧州研修会があり、国會議員7名、地方議員10名以上、20名ほどで、茨城県からは私含め3名の県會議員が参加し、約2週間勉強をしてみました。

参加した国會議員の一人に、生真面目で若々しく、純粋な青年國會議員がいました。

とても堅い感じの方で、安全保障の話を熱心にしていて印象が強く、他の方とは何か違いを感じた覚えがありました。

あれから約32年、その方こそが、第102代内閣総理大臣石破茂氏の若い頃であります。

総裁選で勝利し、総理大臣に就任されました。

昨年は笠間を訪問され、スケートパークの視察や、かき氷など、市内を楽しんでいただきました。今年も総裁選の活動中に笠間の栗を視察し、カフェでモンブランも食べていただき、栗への関心を示してくださいました。

総理として地方を重視し、成長させると言っています。

期待をし、我々もしっかり地方の活力を出すために地域資源を活かしてまいります。

今月の

Pick up

土地は適正に管理しましょう

所有している土地を適正に管理することは、所有者や管理者の責務です。

適正な管理がされていないと、草木の繁茂、害虫などの発生、ごみの不法投棄の誘発などにより、周辺の生活環境に悪影響を及ぼします。そのような土地について、市は、「笠間市すみよい環境条例」に基づいて所有者に適正な管理をお願いしています。

所有者や管理者は、土地や建物が常に適正な状態を保てるように、定期的な除草や木竹の剪定などの管理を行ってください。また、刈払い機などを使う際には、機械の音による騒音などにもご配慮ください。

日頃から無用なトラブルを防ぐためにも、前もって所有している土地のご近所の方や地域の方に連絡先を伝えておくことで、問題が発生したときの早期対応が可能となり、良好な関係の構築にも繋がります。



詳しくはこちら



問 環境政策課 (内線 125)